



羅針盤

第114号

月刊

ロゴデザイン：後藤章

公益財団法人武蔵野市福祉公社

武蔵野市福祉公社は、武蔵野市が全国に先駆け、昭和55年に設立した在宅サービス提供機関です。誌名「羅針盤」は、ご利用者を包括的に支援し、その人生と共に歩むサービスの基本姿勢を示したものです。

誌面より

- デイサービス夏祭り特集 ・・・P1
- 令和4年度第1回権利擁護事業等運営監視委員会を開催しました
- 成年後見利用支援センターの広報・周知の取り組みを他市に紹介しました ・・・P2
- 身体介護研修を開催しています
- 技能習得を実感 - 介護職員初任者研修・演習 -
- 「気になる認知症」お気軽にご相談ください ・・・P3
- お知らせ・リレーコラム ・・・P4



各デイサービスでの
お祭りをご紹介します！



和太鼓が響く盆踊り

北町高齢者センターコミュニティケアサロン

夏祭りWeekとして8月15日～19日の5日間、マツケンサンバの歌に乗せた職員オリジナルの体操や花火大会の映像を流すなどして雰囲気盛り上げ、最終日19日には盆踊りとゲーム大会を開催しました。

画面越しではありましたが、子育てひろば「みずきっこ」の子どもたちと、東京音頭と炭坑節を一緒に踊りました。ゲーム大会では、ビニール袋に思い思いの顔を描き、うちわで一生懸命仰いでそのビニール袋を舞い上がらせるテーブル対抗戦で盛り上がりました。

職員は浴衣と半被を身にまとい、おやつにはシュワシュワのラムネとチョコバナナ、ネギ焼きを提供し、夏祭り気分を満喫しました。お腹もいっぱいになり、笑顔と活気が溢れるひと時となりました。(北町高齢者センターコミュニティケアサロン 村上)



私も担げたよ！ UD神輿ワッショイ！

高齢者総合センターデイサービスセンター

8月22日～27日の1週間、夏祭りの雰囲気を楽しんでもらおうと、盆踊り週間を開催しました。そんな中、「3年ぶりだし楽しくやろうよ」とご利用者の声。それに奮起した職員が3年ぶりに倉庫からお神輿を出しました。

まずは新しい花を作り、古くなった花とつけ替え綺麗に修復。そして、今年は誰もが担ぎ手になれるように考えて作ったユニバーサルデザイン(UD)神輿の完成です。車椅子の方も杖の方も積極的にお神輿につかまり参加され、皆で「わっしょい、わっしょい」と大いに盛り上がりました。

90歳の女性のご利用者は、「初めて担いだ！嬉しい！」と満面の笑みで喜ばれていました。今年は盆踊りだけでなく、お神輿もできて、皆で参加し楽しめる夏祭りになりました。

(高齢者総合センターデイサービスセンター 本橋)



令和4年度第1回権利擁護事業等運営監視委員会を開催しました

7月29日に「権利擁護事業等運営監視委員会」を開催しました。本委員会は、事業が適正に実施されているかについて監査を行うことを目的に、年2回開催します。今回監査対象期間となった上半期（令和4年1月～6月）の出納件数は2,718件、6月末のご利用者数は成年後見人等受任128名、権利擁護レスキュー事業12名、地域福祉権利擁護事業35名、生活保護受給者金銭管理支援事業48名です。

7月22日には税理士の亀田委員等他3名が、新規契約者の保管物や期間中の各事業の全体的出納を調査し、「出納件数が増加している

中でも適正に事務処理されている」「両替手数料が発生しないように工夫して出金するなど、ご利用者に対するホスピタリティが感じられる」と評価されました。

小原委員長からは「ご利用者数が増加しているが、関係機関との連携を軸としたきめ細かい支援ができて」「公社があることで、ご利用者の生活の質の向上が図れている」と講評されました。

これからも権利擁護センターは、地域の関係機関と緊密な連携を図りながら、健全な業務執行に努めてまいります。（権利擁護センター 高橋）

権利擁護事業等運営監視委員会委員

委員長：小原光文 / ライフサポートMEW理事兼事務局長
副委員長：杉田哲朗 / 元市民社会福祉協議会事務局長
委員：矢島和美 / 武蔵野市民生児童委員協議会代表会長
亀田義治 / 税理士
勅使康友 / 司法書士

(敬称略)



◀(左から順に)勅使委員、亀田委員、小原委員長、矢島委員、杉田副委員長

成年後見利用支援センターの広報・周知の取り組みを他市に紹介しました

7月27日に東京都社会福祉協議会主催、成年後見制度推進機関・テーマ別研究会議「成年後見制度の利用促進に向けた取り組み～権利擁護支援の理解促進に向けた広報・周知について～」にて成年後見利用支援センターにおける取り組みの実践報告を行いました。

武蔵野市は成年後見制度利用促進の中核機関として武蔵野市成年後見利用支援センターを設置し、市と福祉公社が共同して運営しています。これまでの福祉公社の知見を基にした日々の相談や毎月の老いじたく講座に加え、市民向けの講演会や学習会・相談会も行っています。



成年後見制度市民講演
わかりやすい成年後見制度のおはなし
～いつまでも幸せに暮らすために～

日時 令和4年9月23日(金・祝)
14時～15時30分 (13時30分開場)

会場 スイングビル 2F-14-1

対象 武蔵野市在住・在勤の方

内容 成年後見制度の基礎知識
- 制度の概要
- 申請の手続き
- 利用のメリット・デメリット
- 相談の仕方

定員 40名
無料 先着予約

申込方法
・申込書(お申し込み用紙)をダウンロードし、お申し込みください。
・お申し込みは、お申し込み用紙に記入の上、お申し込み先へお送りください。
・お申し込みは、お申し込み用紙に記入の上、お申し込み先へお送りください。

申込先
武蔵野市成年後見利用支援センター
〒200-8588 武蔵野市有馬町二丁目1番1号
TEL: 0422-60-1941

今年も9月23日(金・祝)14時より武蔵野スイングビル11階レインボーサロンにて、武蔵野市在住・在勤の方を対象とした成年後見制度の講演会を開催いたします。ぜひご参加ください。

【申込】武蔵野市地域支援課
TEL 0422-60-1941 / 予約制
※締切：9月14日(水)まで

(成年後見利用支援センター 鈴木)

◆成年後見制度推進機関・テーマ別研究会議

東京都の「成年後見活用あんしん生活創造事業」の一環として、都内の成年後見制度推進機関(中核機関)や社協の職員を対象に、各地域における取り組み状況や共通する課題について、研究・協議することを目的とする会議。



ホームヘルプセンター武蔵野 身体介護研修を開催しています



ホームヘルパーに求められるニーズは、家事援助より身体介護が増えていくと予想されます。ホームヘルプセンターでは、身体介護を担えるヘルパーを増やすことを計画していました。

そこで、今年度より、ヘルパーがご利用者により良いサービスを提供できるように、身体介護研修を実施することにしました。7月20日の初回では、車いすからベッドへの基本的な移乗介助について、4名のヘルパーが関前スペースに集まり研修を受けました。参加者は当初は緊張していましたが、次第にリラックスし、様々な質問が飛び交い、活気のある研修となりました。

(ホームヘルプセンター武蔵野 池田)

(研修に参加したヘルパーより)

基本的な身体介護ですが、ケアに入っていないと忘れていた部分がありました。少人数の研修は意見交換がしやすかったです。

あなたの手を市民の支えに

技術習得を実感

- 介護職員初任者研修・演習 -



地域包括ケア人材育成センター「介護職員初任者研修」の演習（7日間）が7月に行われました。介護技術の専門性をより深く学び、受講者同士のチームワークも高まりました。演習終盤で見る真剣な表情や身体の動きはプロそのもの。まるで一つのケアチームのようでした。互いに演習する中で「ご利用者側が楽に感じるときは、介護者も無理のない身体の動きができて」と共有し、そこから介護職に対する前向きなイメージを持つなど、大変充実した演習期間となりました。

修了後も、センターでは各研修や修了者ミーティング等を開催し、継続的なフォローをしています。

(地域包括ケア人材育成センター 桑谷)

健康長寿のまち武蔵野推進月間

「気になる認知症」

～お気軽にご相談ください～



加齢とともに、認知機能の低下はどうしても生じてくることです。「もしかして、認知症?」「最近、親の様子が心配」などと、お悩みの方はいませんか。

武蔵野市では、経験豊富な専門相談員による「認知症相談」が、毎月3回（1回1時間）高齢者支援課への事前予約制で開催されています。ぜひご利用ください。

また、9月の1カ月間を「健康長寿のまち武蔵野推進月間」と題し、認知症やフレイルに関する様々なイベントを実施しています。お近くの在宅介護・地域包括支援センターでは案内のチラシを配布しております。奮ってご参加ください！

(高齢者総合センター在宅介護・地域包括支援センター 上田)

公益財団法人認知症予防財団所属
武蔵野市認知症相談

相談員 菅朋江 先生



権利擁護センターより

講座



● 老いたくの基礎知識

9月22日(木) 13時30分から15時00分
@福祉公社1階会議室

● エンディングノート講座

10月7日(金) 17時00分から18時30分
@福祉公社1階会議室

相談



◆ 法律相談 (成年後見関連)

10月6日(木) 午後 / 予約制

◆ 法律相談 (高齢者にかかる一般法律相談)

毎月第4水曜日 (次回は9月28日 午後 / 予約制)

【問合せ・申込み】 権利擁護センター ☎ 0422-27-5070

介護保険サービスを知ろう「デイサービス」編

「デイサービス」ってどんなところ？
疑問・質問に答えます。

【日時】 令和4年9月30日(金)
13時30分～15時00分(13時15分受付開始)
【場所】 高齢者総合センター 3階講義室
【定員】 15名(申込制)
【講師】 富田尚美氏(高齢者総合センターデイサービスセンター長)
【申込】 事前にお電話にてお申込みください。



【問合せ・申込み】 高齢者総合センター 在宅介護・地域包括支援センター ☎ 0422-51-1974



職員レコーラム

夏休みに思うこと

権利擁護センター 村山 咲江

本コラムを執筆中の8月、子どもたちは夏休み真っ盛りである。我が家の子どもは自室からめったに出てこない。時おり部屋から笑い声が聞こえる。どうやらSNSに夢中のようだ。

私の子どもの頃の夏休みといえばこんな様子だった。朝は早起きをして、近所の公園で行われるラジオ体操に参加する。午前中は学校のプールを楽しみ、午後はアイスを食べながら本を読んだ。一大イベントは祖父母の家への帰省で、親戚に会ってお小遣いをもらうことであった。変わるものである。

コロナ禍において、子どもたちの学校生活は不条理の連続であった。運動会や修学旅行、部活動の大会、「青春」とうたわれるものは縮小・中止となった。そんな制限の多い学生生活の中でも、子どもたちはSNSで交流をもち、めげずに前を向いているようだ。

ではあるが、私は思う。SNSの狭い世界に閉じこもらず、リアルに人と出会い、新しい体験をし、たくさんの失敗を重ね、その感性を磨いてほしい。自分とは違う人を知り、違う世界に触れる。そんな日常を待ち望んでいる。



SNS…ソーシャルネットワーキングサービス(Social Networking Service)の略。
登録された利用者同士が交流できるWebサイトの会員制サービスのこと。

今回は 北町高齢者センターコミュニティケアサロン 村上 綾香

福祉公社 各部署のご案内



<ホームページ>
◇ 武蔵野市福祉公社 <https://www.fukushikosha.jp>
◇ 武蔵野市地域包括ケア人材育成センター
<https://www.m-machigurumi.jp>
◇ ホームヘルプセンター武蔵野 <https://help-musashino.jp>
営業時間 8時30分から17時15分(すべて共通)

武蔵野市福祉公社 本部

武蔵野市吉祥寺北町1-9-1

総務課 ☎ 0422-23-1165
権利擁護センター ☎ 0422-27-5070
成年後見利用支援センター ☎ 0422-27-1238
生活自立支援センター(三鷹サテライト) ☎ 0422-66-2801
ケアプランセンター ☎ 0422-27-5076
ホームヘルプセンター武蔵野 ☎ 0422-23-2611
地域包括ケア人材育成センター ☎ 0422-20-3741

武蔵野市立北町高齢者センター 武蔵野市吉祥寺北町4-1-16

コミュニティケアサロン ☎ 0422-54-5300
子育てひろば・みずきっこ ☎ 0422-38-5150

武蔵野市立高齢者総合センター 武蔵野市緑町2-4-1

管理・社会活動センター ☎ 0422-51-1975
在宅介護・地域包括支援センター ☎ 0422-51-1974
住宅改修・福祉用具相談支援センター ☎ 0422-51-1974
デイサービスセンター ☎ 0422-51-2933

広報委員会

編集後記

広報委員の一員になって驚いたことがあります。それは羅針盤制作に携わっている職員のブロ顔負けの仕事ぶりです。打合せの場でレイアウトのラフ画を描いてしまう職員、ラフ画を形にしてセンスの光る紙面を作る職員。福祉の現場にも、こんなに才能豊かな職員がいるのだな、と嬉しくなる広報委員なのでした。(高齢者総合センター在宅介護・地域包括支援センター 宮地)